

令和4年12月3日（土）に町内会役員を対象とした「町内会活性化講座（テーマ編）」を開催しました。講座には17名の方にご参加いただき、「親しみやすい顔の見える関係づくり」について講義を聴いたのち、グループに分かれてワークショップを行いました。

《開催概要》

日時：令和4年12月3日（土）14:00～16:00

場所：仙台市役所上杉分庁舎2階会議室

参加者：17名

内容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 酒本宏氏から、町内会が抱える担い手不足の課題に対して、地域コミュニティを活性化するために、多様な主体と連携した新たなつながりづくりや、顔の見える関係づくりのポイントなどの話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、4グループに分かれ、子育て世代が引っ越してきたケースや町内会に参加が少ないマンション世帯のケースでどのように「きっかけ」をつくり、「呼びかけ」を行い、「しかけ」をして顔の見える関係づくりを構築するかについてグループごとにアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。

ワークショップ全体のまとめ

きっかけ

- 興味のある活動に参加してもらおう
 - ・ 小さい子の母親や女性のサークルづくり
 - ・ 家族で参加できる場づくり
- 情報を発信する
 - ・ 関係団体の活動（特に子育て世代、女性の活動）を情報発信する
 - ・ LINEなどSNSを活用する
 - ・ 地域や町内会の歴史も知ることができる
- 訪問し町内会を案内する
 - ・ 会長が子供会の案内とともに訪問する
 - ・ 訪問して挨拶する

呼びかけ

- 町内会や活動を案内する
 - ・ 案内チラシを持って直接声をかける
 - ・ 防災に役立つチラシの配布をする
 - ・ 各世代の関心のあることを案内する

顔の見えるしかけ

- 活動に参加してもらおう
 - ・ 若者でも参加できるスポーツ関連イベントやカフェを開催する
 - ・ 子育てサロンを開催する
- コミュニケーションをとる
 - ・ 直接会いに行って町内会を紹介する
 - ・ 不動産会社と連携する

グループごとの意見・アイデア

「きっかけ」では、子育て世代や女性の活動など町内会に参加してほしいターゲット層に関連する団体の活動を情報発信する、LINEなどSNSを活用する、まちの歴史をお知らせするなど意見が出されました。「呼びかけ」では、案内を持って直接声がけをする、チラシを配布するなど意見が出され、「顔の見えるしかけ」は、子ども会や健康づくり体操などの行事に参加してもらう、不動産会社と連携する、といった意見が出されました。

グループA

【子育て世代が引っ越してきたケース】

【マンション世帯のケース】

- きっかけのアイデアは、小さい子の母親や女性のサークルづくり
- 呼びかけのアイデアは、アンケート調査
- 顔の見えるしかけは、子どもも参加できるグラウンドゴルフや大人が参加できる歩こう会などの開催、公園の草刈り

グループB

【子育て世代が引っ越してきたケース】

- きっかけのアイデアは、訪問しての挨拶や町内会への加入案内
- 呼びかけのアイデアは、パンフレットを配布し町内会の紹介
- 顔の見えるしかけは、商業施設や医療機関の場所の紹介

【マンション世帯のケース】

- きっかけのアイデアは、アンケートを取ってのニーズ把握
- 呼びかけのアイデアは、困りごとがある時は連絡をくださいと伝えること
- 顔の見えるしかけは、若者へ町内会SNS作成の依頼

グループC

【子育て世代が引っ越してきたケース】

- きっかけのアイデアは、会長のあいさつ回りや家族で参加できる場づくり
- 呼びかけのアイデアは、回覧板で案内・LINEの活用、役員の直接の声がけ
- 顔の見えるしかけは、子育てサロンの開催、お祭りなど踊りの教習の開催

【マンション世帯のケース】

- きっかけのアイデアは、スポーツ競技大会への勧誘、不動産会社との連携
- 呼びかけのアイデアは、回覧案内、LINEを活用
- 顔の見えるしかけは、若者でも参加できるスポーツ関連イベントやカフェの開催

グループD

【子育て世代が引っ越してきたケース】

【マンション世帯のケース】

- きっかけのアイデアは、SNSで情報を見えるようにする、LINEグループなどを活用する
- 呼びかけのアイデアは、小さな冊子を作って町内会活動を知ってもらう
- 顔の見えるしかけは、お茶のみ会を開催して住民の意見を聞く

